



2019年3月期第2四半期 決算説明会

2018年12月6日

三菱ロジスネクスト株式会社



2019年3月期第2四半期 決算概要

**三菱ロジスネクスト株式会社
取締役社長 御子神 隆**

市場環境

- 世界経済は、米国での大型減税効果や欧州でのユーロ安を背景とした輸出回復等により、先進国では引続き堅調を維持。
- 一方で、米中貿易摩擦は収束が見えない状況であり、今後の中国・アジア諸国経済への影響が懸念される。欧州でも、Brexitの影響や南欧での政治リスク等から予断を許さない状況であり、今後の動向には注意を要する。
- フォークリフトを中心とする物流機器業界は人手不足を背景に市場規模は拡大傾向であるが、競争環境は依然として厳しく、市場環境のトレンドやお客様のニーズにお応えすることで、より一層の成長を目指す。

連結業績概要

- 売上高は世界的な需要拡大に伴う販売増および価格改定効果が寄与し、前年比+4.8%の増収。
- また、営業利益は資材費高騰等の影響があったものの、一時費用の解消・原価低減活動・販売増による粗利増およびのれん償却費減少が寄与し、前年比+56.2%の増益となる。

2. 決算ハイライト

Logisnext

(単位：億円)

損益計算書	2017年9月期	2018年9月期	前年同期比増減	
売上高	2,056	2,155	+99	+4.8%
営業利益 (のれん償却前) (営業利益率)	80.1 (3.9%)	88.0 (4.1%)	+7.9	+9.9%
のれん償却	▲52.1	▲44.1	—	—
営業利益 (営業利益率)	28.1 (1.4%)	43.9 (2.0%)	+15.8	+56.2%
経常利益 (経常利益率)	26.9 (1.3%)	51.4 (2.4%)	+24.5	+91.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	4.4 (0.2%)	25.4 (1.2%)	+21.0	+477.3%

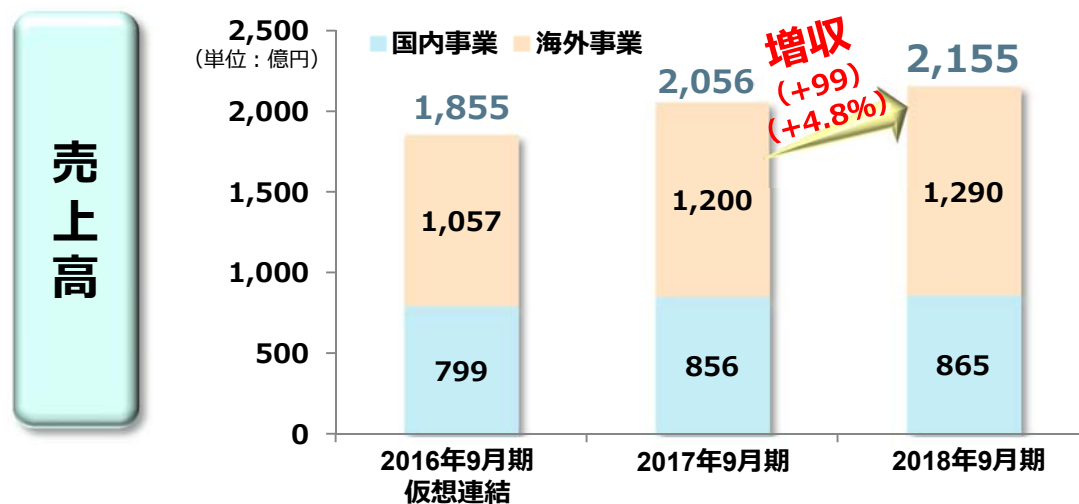
貸借対照表	2018年3月期	2018年9月期	前期比増減	
総資産	3,749	3,664	▲85	▲2.3%
総負債	3,126	2,988	▲138	▲4.4%
純資産	624	677	+53	+8.4%

2017年9月期実績レート：USD = 111.06円 EUR = 126.29円 CNY = 16.42円

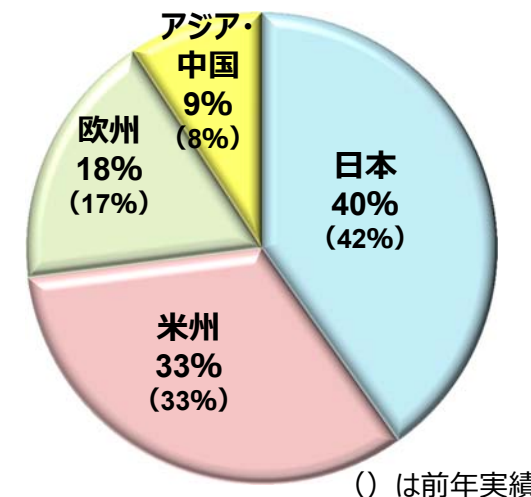
2018年9月期実績レート：USD = 110.26円 EUR = 129.85円 CNY = 16.75円

3. セグメント別業績

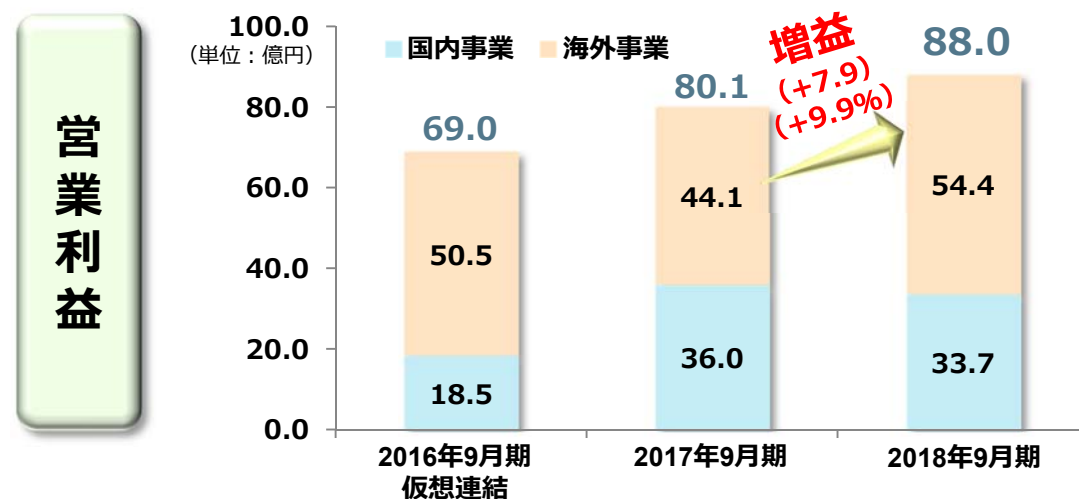
売上高：世界的な需要拡大による販売増と価格改定により増収



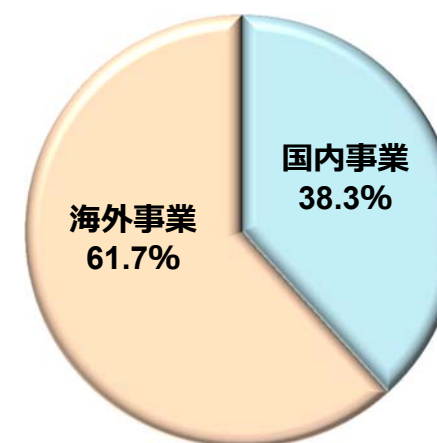
地域別内訳（2018年9月期）



営業利益：資材費高騰の影響があったものの、販売増・原価改善等により増益

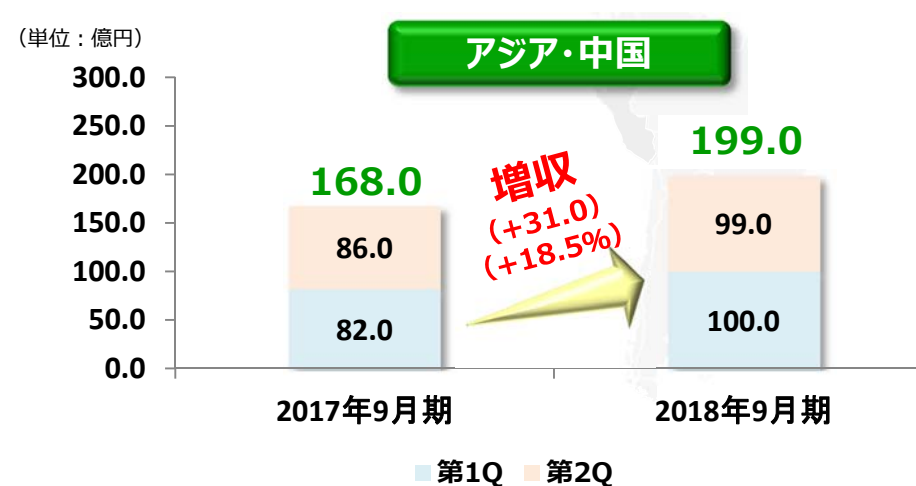
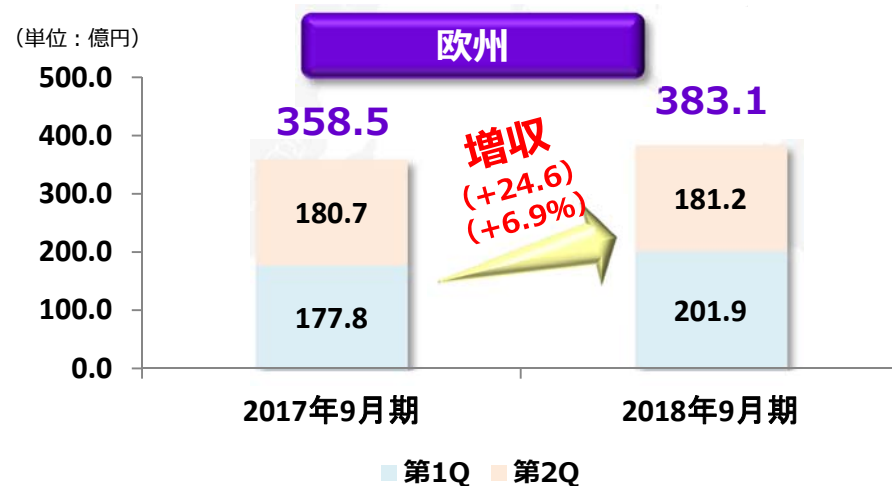
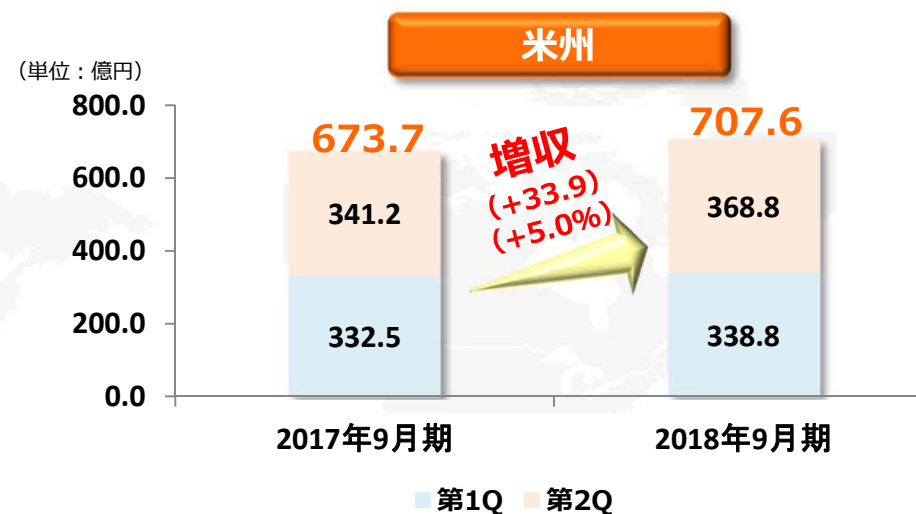
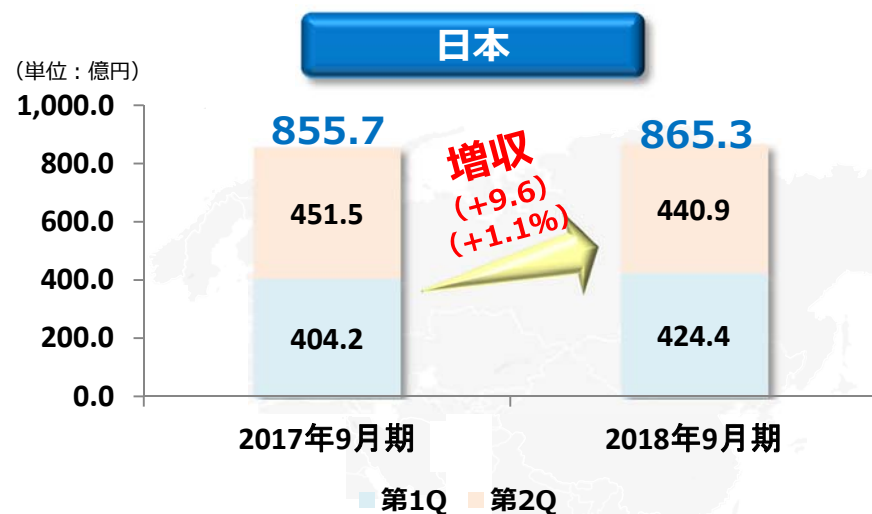


セグメント別内訳（2018年9月期）



4. 地域別売上高（為替影響含む）

Logisnext

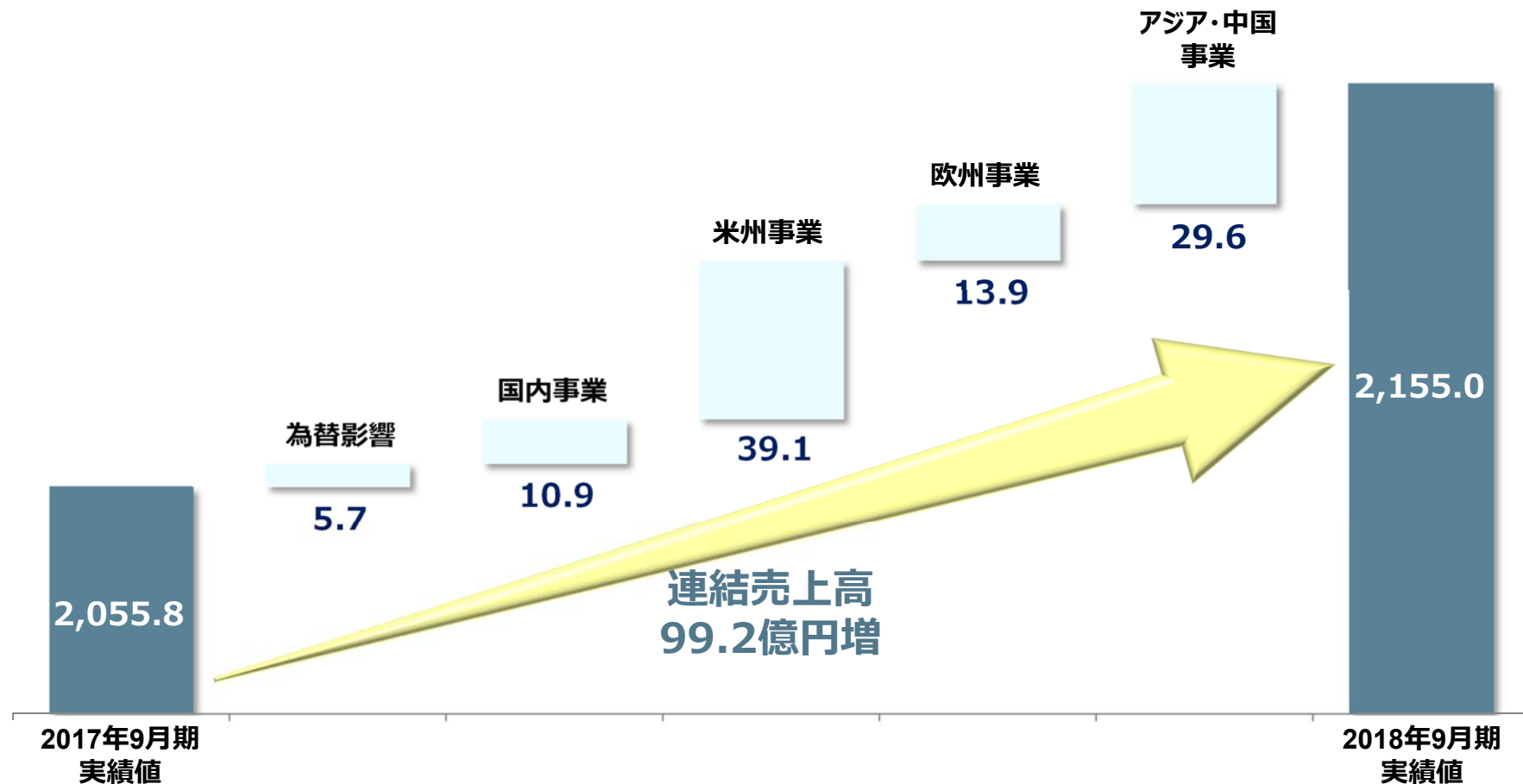


5. 連結売上高増減要因（前年同期実績対比）

Logisnext

市場が好調な米州・中国・アジアを中心とした販売増が寄与し増収

（単位：億円）

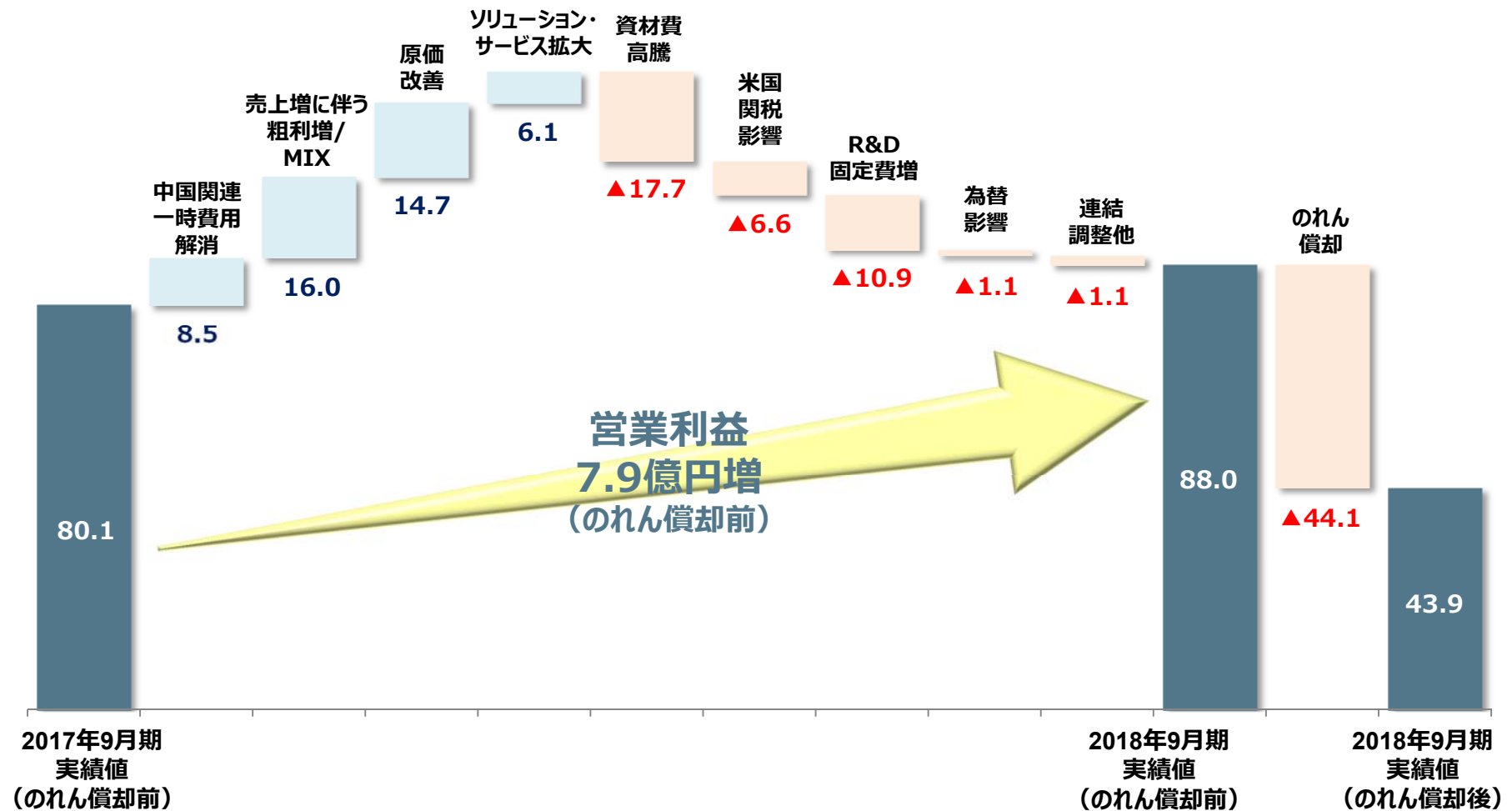


6. 連結営業利益増減要因（前年同期実績対比）

Logisnext

資材費高騰・米国関税問題等が響くも、
売上増や原価改善等のシナジーが寄与し増益

（単位：億円）

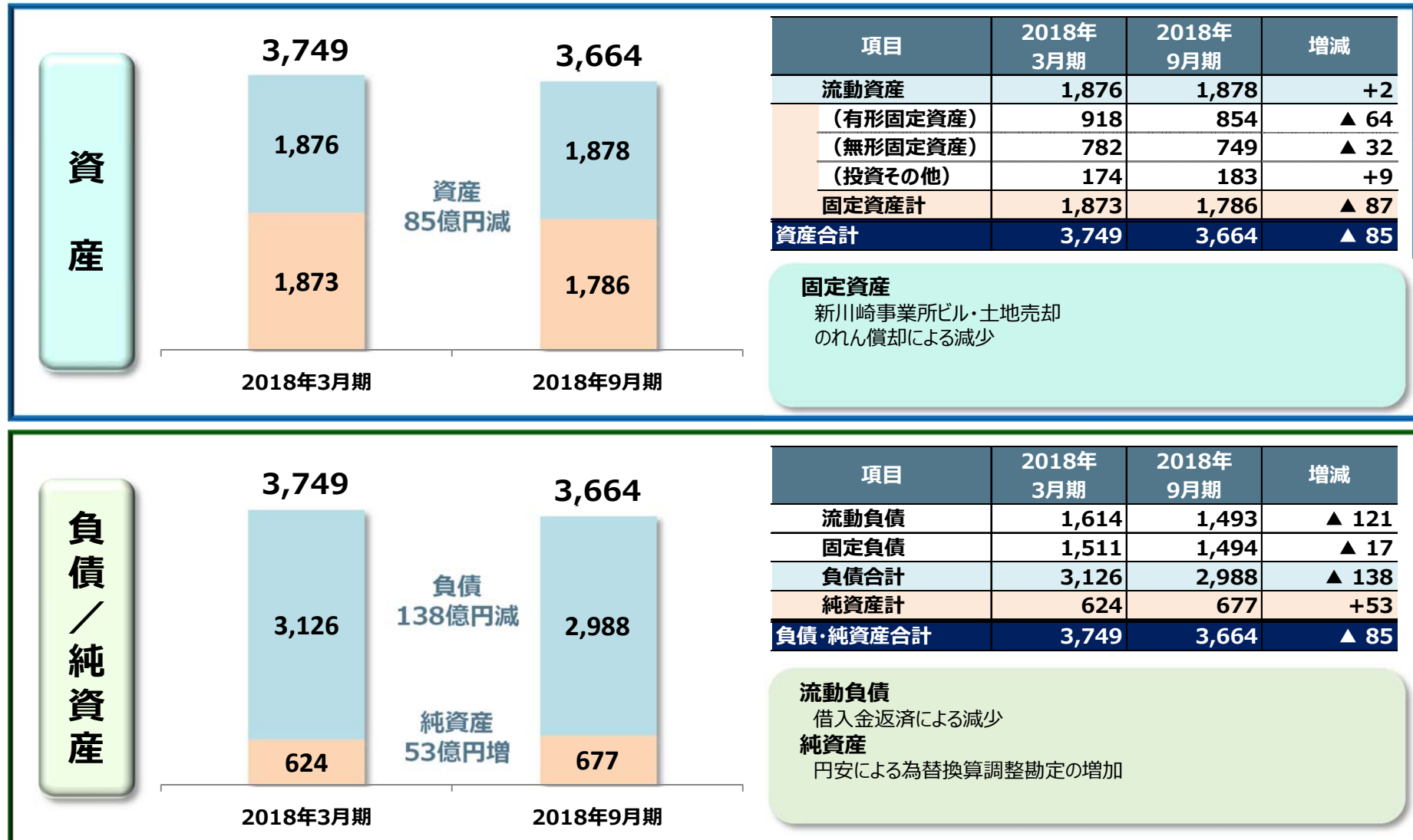


7. 連結貸借対照表

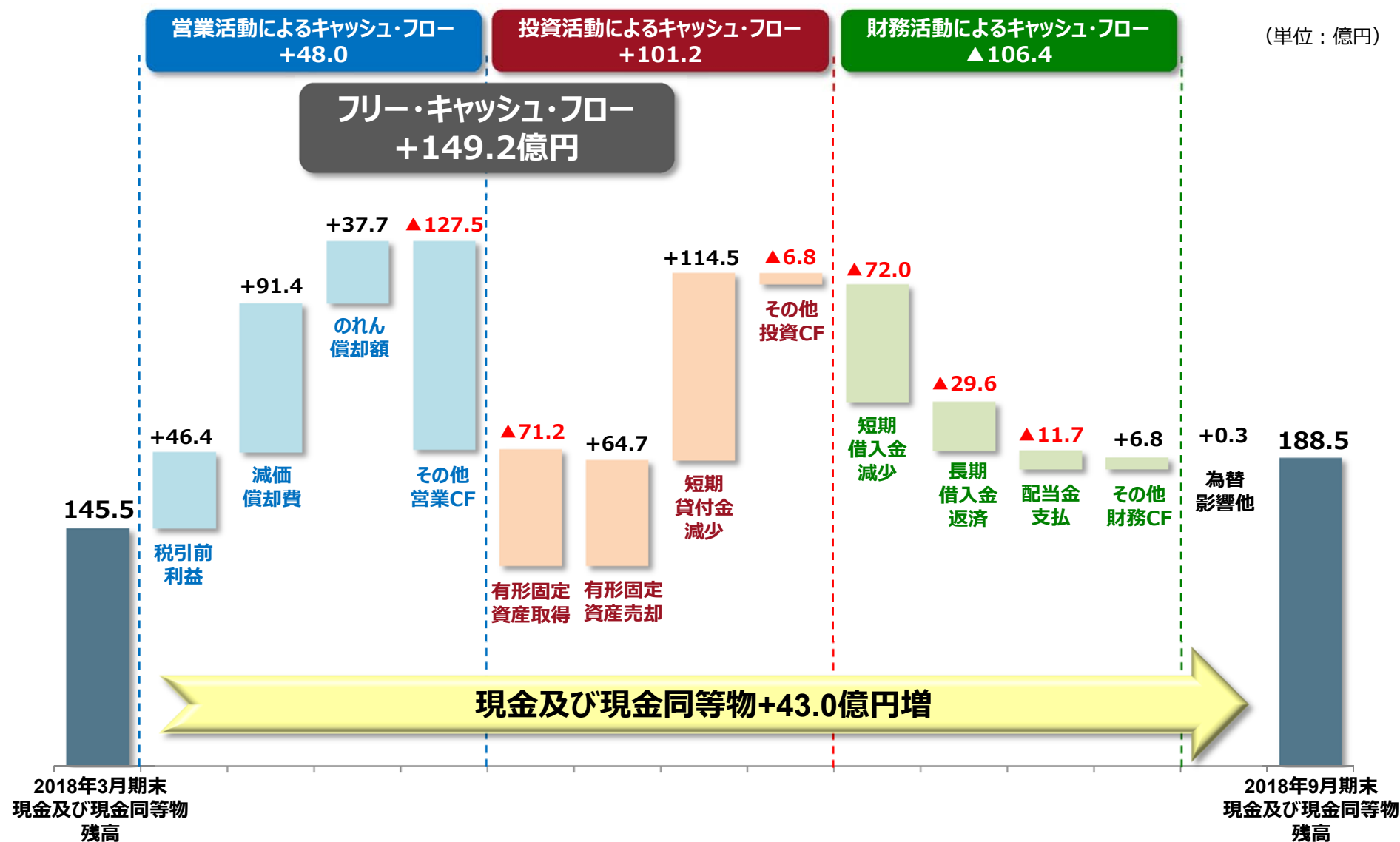
Logisnext

経営基盤強化を目的としたアセットマネジメントにより総資産を圧縮

(単位：億円)



8. キャッシュフローの状況



9. 2019年3月期通期業績見通し

Logisnext

(単位：億円)

項目	2018年9月期 (実績)	2019年3月期 (予想)
販売台数	58千台	118千台
売上高	2,155	4,350
営業利益 (のれん償却前) (営業利益率)	88.0 (4.1%)	208.5 (4.8%)
のれん償却	▲44.1	▲83.5
営業利益 (のれん償却後) (営業利益率)	43.9 (2.0%)	125.0 (2.9%)
経常利益 (経常利益率)	51.4 (2.4%)	110.0 (2.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	25.4 (1.2%)	60.0 (1.4%)
1株あたり配当	—	11円

2018年度計画レート：USD=110円 EUR=130円 CNY=16円

【参考資料】主な経営指標

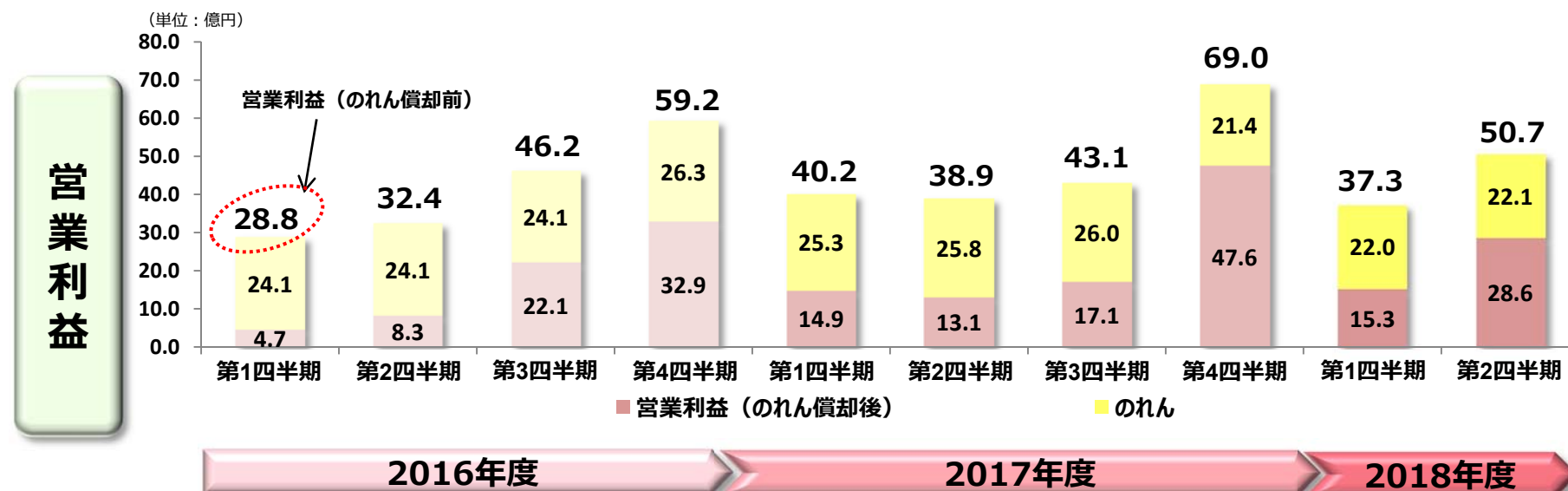
Logisnext

	指標	算式	2018年3月期		2018年9月期		コメント
				(のれん償却前)		(のれん償却前)	
総合	総資本利益率（ROA）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	0.8%	(3.3%)	1.4%	(3.8%)	のれん償却の減少、米国税制改革等が寄与し当期純利益が増加したことで良化 ＜のれん償却額累計＞ 2017年度通期：98億52百万円 2018年度2Q：44億9百万円
	自己資本利益率（ROE）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	5.0%	(18.6%)	8.1%	(22.1%)	
収益性	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	2.1%	(4.4%)	2.0%	(4.1%)	
	売上高当期利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	0.7%	(2.8%)	1.2%	(3.2%)	
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.2回		1.2回		
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	6.1回		5.9回		
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	5.8回		5.3回		
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	16.0%		17.9%		当期純利益の増加と円安による為替換算調整勘定の増加が寄与し良化
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	3.0倍		2.6倍		
株主関連	1株あたり利益	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{発行済株式数}}$	27.6円		46.71円		一株あたり利益・純資産は増加したものの株価が大きく上昇したため指数は悪化 2018年3月期末：895円 2018年9月期末：1,482円
	株価収益率（PER）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり利益}}$	32.4倍		31.7倍		
	株価純資産倍率（PBR）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり純資産}}$	1.6倍		2.4倍		

【参考資料】四半期推移

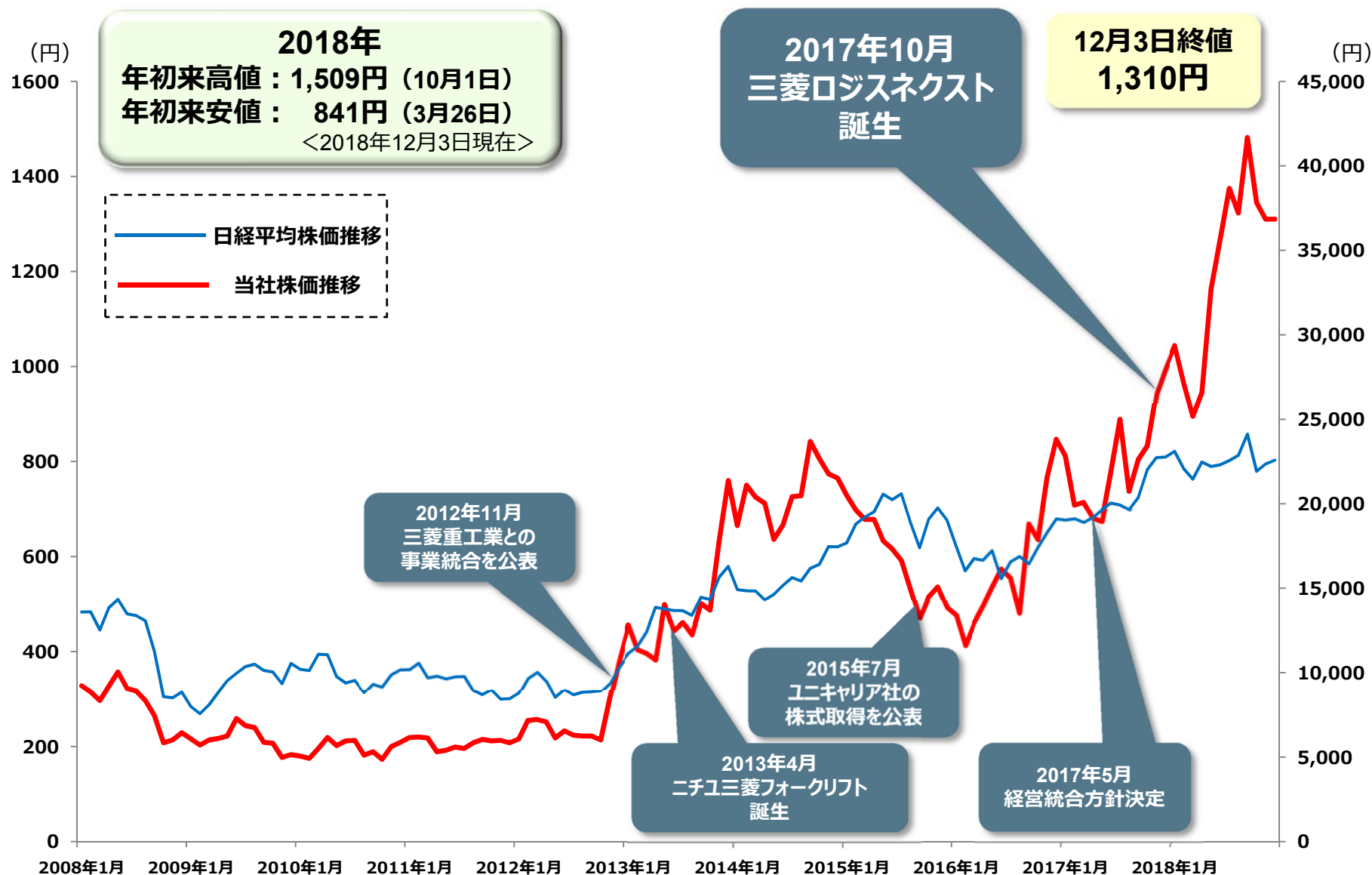
Logisnext

※2016年度第1四半期～第3四半期の数値は仮想連結



【参考資料】株価の推移

Logisnext



【参考資料】会社概要

Logisnext

商 号	三菱ロジスネクスト株式会社 (Mitsubishi Logisnext Co., Ltd.)
本社所在地	京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
設 立	1937年8月
代 表 者	代表取締役社長 御子神 隆
資 本 金	48億90百万円（2018年4月1日現在）
事業内容	バッテリーフォークリフト、エンジンフォークリフト、 搬送用ロボット、自動倉庫、WMS等の物流システム商品、 土木建設機械、産業用エンジン、ミッション等の開発・設計・ 製造・販売
事 業 所	【国内】京都・滋賀・神奈川 他 【海外】米国・欧州・中国・アジア 他
連結従業員数	約11,000名
年間生産能力	約121,000台

【参考資料】国内生産／販売拠点

Logisnext

生産拠点：5 直系販社：11



【参考資料】主な海外生産／販売拠点

Logisnext





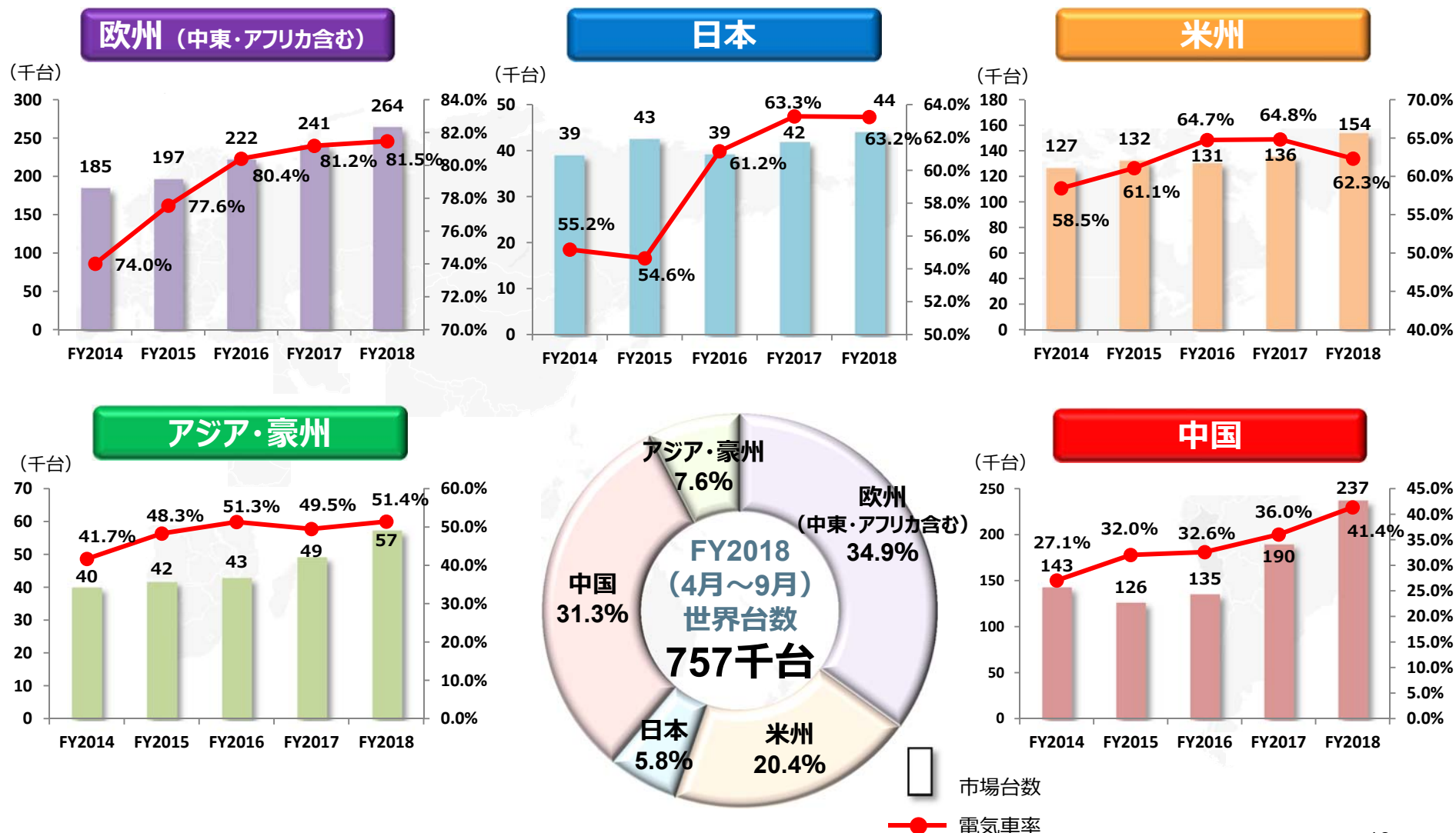
経営計画の進捗状況

三菱ロジスネクスト株式会社
取締役社長 御子神 隆

1. フォークリフト市場動向 (4月～9月)

Logisnext

2018年度上期のフォークリフト市場は全世界的な需要拡大により、前年比15.2%増の757千台。
米中貿易摩擦の影響による景気後退の懸念があるものの、需要は引続き堅調に推移する見込。

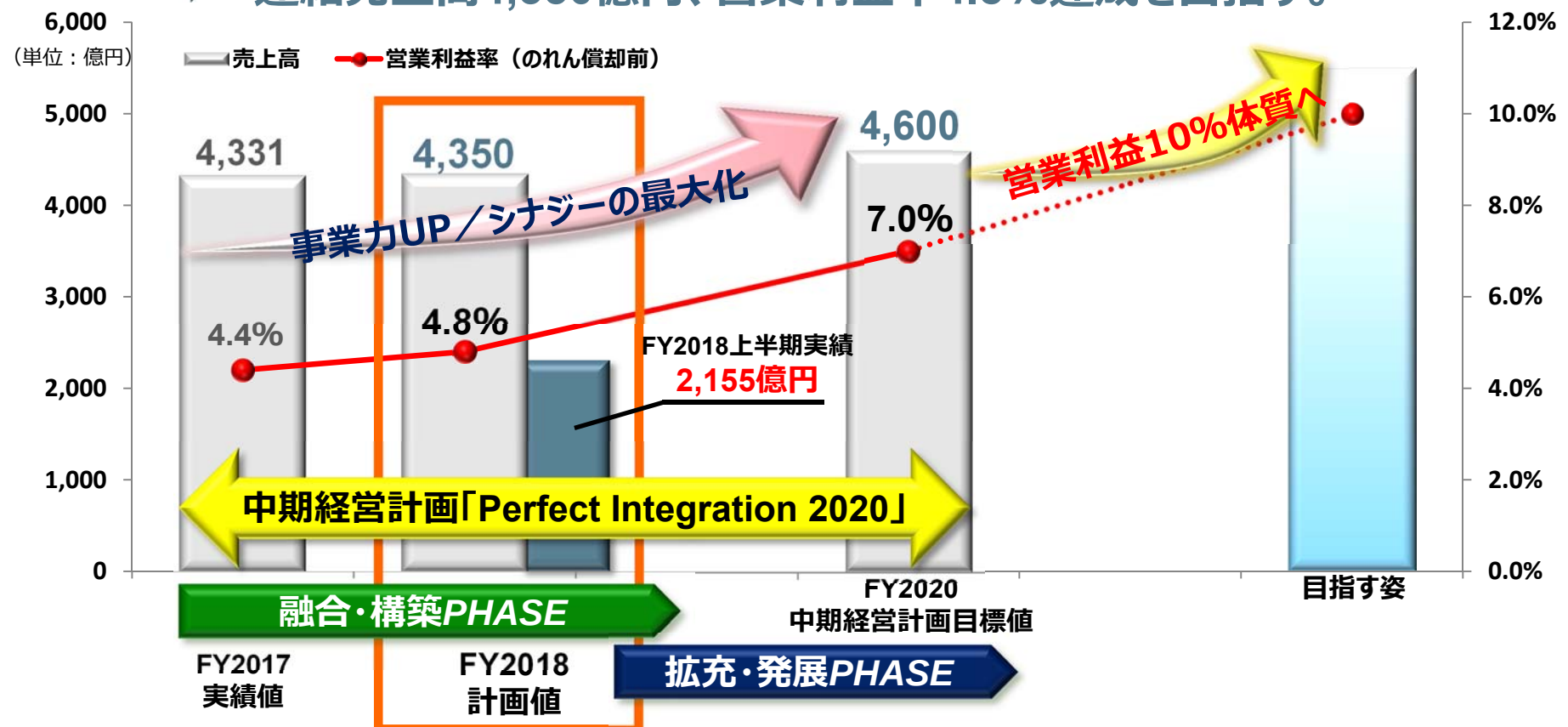


2. 2018年度経営方針

2018年度の位置づけ

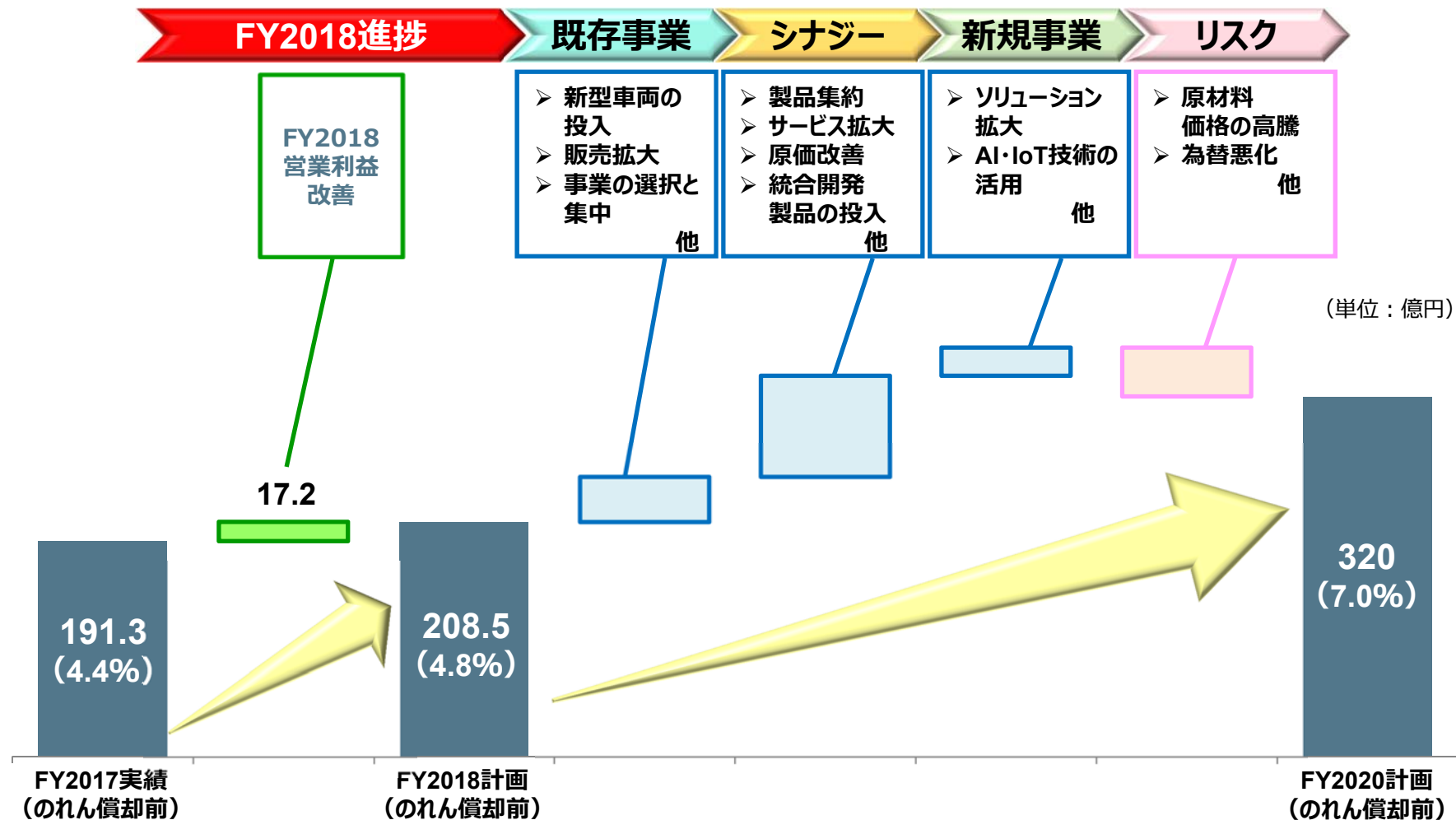
- 中期経営計画「Perfect Integration 2020」の2年目
- 「融合・構築PHASE」の総仕上げと「拡充・発展PHASE」へのスムーズな移行
- 「既存事業」「シナジー」「新規事業」の3本柱で収益力を強化

➡ 2018年度下半期も引続き上記経営方針に基づき
連結売上高4,350億円、営業利益率4.8%達成を目指す。



3. 中期経営計画進捗状況

2018年度上期は資材費高騰・米国関税影響等が響くも、売上増やシナジーの創出により利益率が改善。
中期経営計画達成に向け、事業拡大に向けた成長戦略とシナジーの確実な刈取りを実行。



4. 2018年度下期改善に向けて

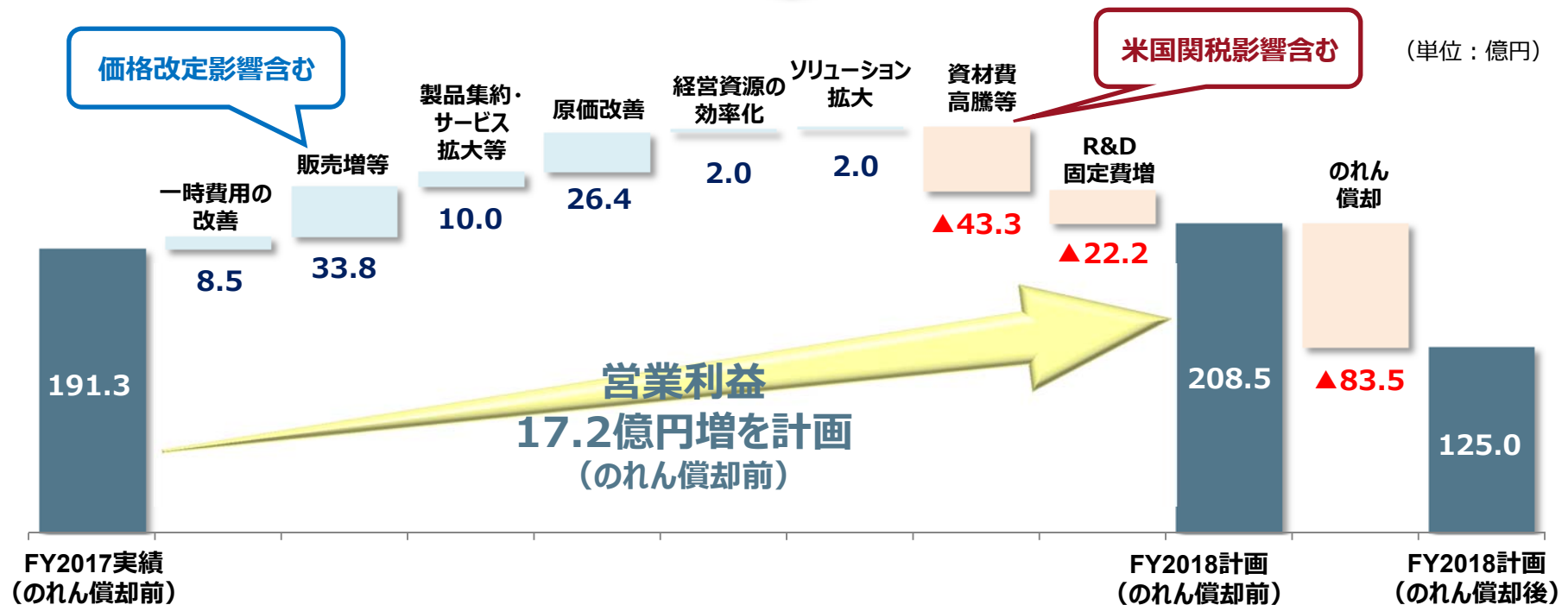
Logisnext

当社を取り巻く課題

- ・ 原材料価格の高騰
- ・ 米国の対中製品関税問題
- ・ 競争激化
- ・ 技術の高度化 等

2018年度下期の重点項目

- 原価改善
- 価格改定
- ソリューションビジネスの強化
- シナジーの早期創出と確実な刈取り 等



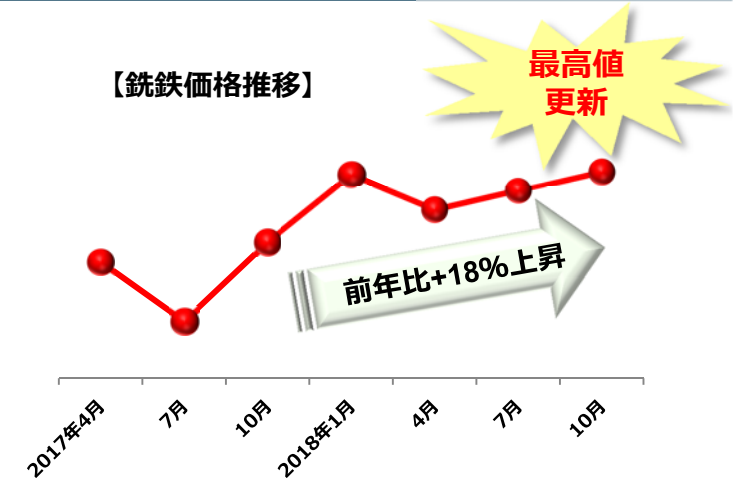
5. 既存事業

■ 原材料価格高騰と中国製部品関税アップへの対応

➤ 主要市場のフォークリフト価格を改定

- ・ 国内市場向け価格改定
- ・ 米州・欧州市場向け価格改定
- ・ アジア市場向け価格改定

中国製部品関税アップ分の価格転嫁と
調達見直しによりマイナス影響を抑制



■ 地域ニーズ・お客様ニーズにマッチした製品展開

➤ 新型バッテリーフォークリフト

- ・ 電気車化が顕著な欧州市場向けに新型バッテリーフォークリフト「EDiAシリーズ」をモデルチェンジし投入。

➤ Li-ion電池搭載製品の展開

- ・ Li-ion電池搭載フォークリフト
連続稼動・高稼働現場のお客様向けに展開。
- ・ Li-ion電池搭載構内運搬車
豊洲市場を中心に全国の各市場で活躍している構内運搬車「エレトラック」にLi-ion電池搭載車を展開。



欧州市場向け
バッテリーフォークリフト
「EDiA」



Li-ion電池搭載フォークリフト
「AGRES BX Li-ion」



Li-ion電池搭載構内運搬車
「エレトラック (Li-ion搭載型)」

6. シナジー

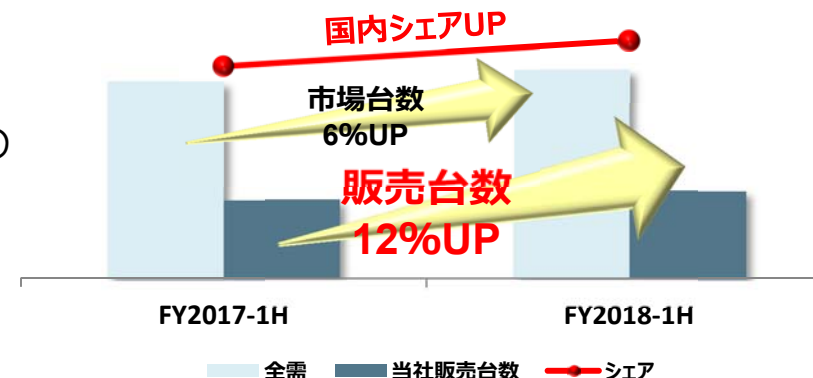
■さらなる製品集約へ

➤ 製品集約による販売台数拡大

- 強みのある製品をマルチブランドで展開することで販売台数の大幅増とシェアアップを実現。
(日本市場向けリーチ型フォークリフト)



- 他の機種についても製品集約を進めることで、生産効率を向上させるとともに市場プレゼンスの拡大を目指す。



6. シナジー

■ 販売会社の再編

- **中国**：「三菱物捷仕叉車（上海）」を設立。
高需要地域の直販化により製品サイクルでの収益極大化を目指す。



UniCarriers China Corporation製
ディーゼルエンジンフォークリフト「INOMA」



Nichiyu Forklift Manufacturing (Shanghai) 製
リーチ型フォークリフト「Platter」

三菱物捷仕叉車（上海）ネットワーク



- **マレーシア**：当社グループ会社（TCMM社）株式の一部を地場有力販売会社に譲渡。
強固な営業力を活用し、販売規模拡大を図る。

TCMM社概要	
社名	TCM Forklift (Malaysia) Sdn. Bhd,
資本金	3.9百万マレーシアリングット（約98百万円）
売上高（2017年度）	24百万マレーシアリングット（約600百万円）

- **日本**：2020年を目処に販売会社の統合完了を目指す。



アジア市場向け大型ディーゼルエンジンフォークリフト
（10-16t車）

7. 新規事業

Logisnext

■ 物流倉庫におけるソリューションの提供

「省人化」「自動化」「無人化」のニーズが拡大

- ✓ 保管スペースの最大限の活用
- ✓ 高揚高への対応
- ✓ 安全な作業環境の実現

レーザー誘導方式無人フォークリフト

「RACK FORK Auto（ラックフォークオート）」新発売

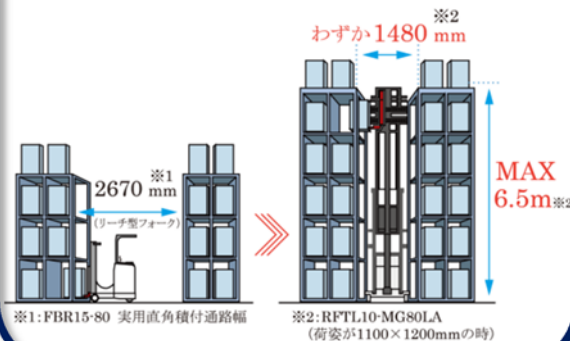
無人フォークリフトの製品ラインナップを拡充

お客様ニーズの取込みと自動化技術等の成長分野への取組みを強化



主な特長

保管スペースの有効活用が可能

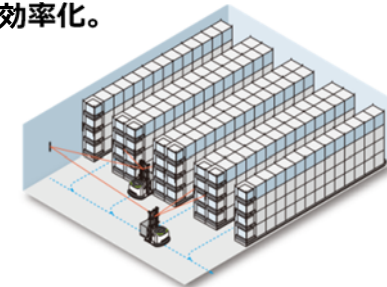


レーザー誘導方式の採用



独自の稼動管理システム
「Route Optimizer」を搭載。

AGV※が最適なルートを選択し
作業を効率化。



8. トピックス

■「国際物流総合展2018」に出展

- 2018年9月11日～14日まで東京ビッグサイトで開催された「国際物流総合展2018」に、統合会社発足後初めて三菱ロジスネクストとして出展。
- 「無人化技術」「先進技術」「最新ソリューション」「安全技術」の4つのテーマに分けて、当社が提供するソリューションと製品をご紹介します。
- お客様ご来場者数（4日間のべ）：8,400名超（前回比+35%）



当社ブース全景



レーザー誘導方式AGV※
「Platter Auto」



レーザー誘導方式AGV
「RACK FORK Auto」

※AGV：Automated Guided Vehicle

9. 企業理念

Logisnext

新しい企業文化の醸成と統合シナジー効果の最大化を目的に「企業理念」「経営方針」を改訂。

企業理念

Logisnext

Logistical Equipment & System Solutions Next

世界のあらゆる物流シーンで、
お客様にソリューションを提供し続け、
未来創りに貢献する

経営方針



- ① 安全がすべての基本であるという理念の下、常に「安全第一」を心がけます
- ② 個性、創造性、挑戦する姿勢を尊重し、働き甲斐のある職場づくりを目指します
- ③ 物流に携わるすべての人々に心からご満足いただける商品・サービスを提供します
- ④ 最先端の技術により、物流の未来に新しい価値を創造します
- ⑤ 日々の研鑽に努め、世界に選ばれる品質を追求し続けます
- ⑥ グローバルな視点で地球環境の保全に努め、地域社会の継続的な発展に貢献します
- ⑦ 法令その他の社会規範を遵守し、誠実かつ公正に事業活動を遂行します

三菱ロジスネクスト株式会社

注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保障するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社 財務企画部企画課 荻屋、 辻

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-956-8610 FAX : 075-951-4038

URL : www.logisnext.com

Logisnext

三菱ロジスネクスト